

# 南部片富士湖だより

No.215

令和6年5月30日  
北上川ダム統管理事務所  
管理第二課

## 6月12日(水) ダム警報訓練を実施します！



四十四田ダムでは、6月12日(水)に大規模洪水を想定した「ダム警報訓練」を実施します。訓練では、警報所のスピーカー・サイレンからの音の届き方を確認するため大きな音が鳴ります。ダムから緊急放流(※1)する時の内容を放送します。普段の放流警報音とは異なる音声となりますので、ぜひこの機会に放送内容をご確認ください。地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

(※1)「緊急放流」とは、計画以上の洪水によりダム湖に貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水を、そのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。(四十四田ダムではこれまで実績はありません。)

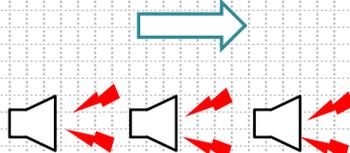


### 今回のダム警報訓練で放送する予定の内容はこちら (緊急放流での放流警報パターン)

1 はじまりのチャイム



2 緊急効果音



「緊急効果音」は、緊急放流(異常洪水時防災操作)の際に鳴る音で、普段のゲート放流では鳴らない音です

3 案内放送

【放送内容(例)】

「訓練 訓練」

四十四田ダムから緊急の連絡です。異常な大雨が降り続いています。今から〇時間後に、ダムからの放流量が増加します。川の水位が急上昇しますので、ただちに命を守る行動をとってください。繰り返します。」

案内放送の内容は一部変更する場合があります

4 サイレン



繰り返し5回サイレンが鳴ります



当事務所のホームページで、放流する時の「放流警報音(緊急効果音、サイレン)」を聴くことができます



## 洪水対応演習を実施



5月15日（水）、北上川ダム統合管理事務所および所管5ダムにおいて、洪水対応演習を実施しました。この演習では、本格的な出水期を迎えるにあたり、ダムからの放流についての情報が関係機関に迅速かつ正確に伝わるよう、情報伝達の演習を行いました。



## 観測所点検を実施



ダムの管理施設には雨量観測所や水位観測所もあります。ダムの操作において必要となる雨量や流水量を正確に観測するため、定期的に点検を行う必要があります。四十四田ダムでは先日、職員による点検を実施し、異常が無いことを確認しました。



## 岩手県立博物館のカワウ調査に協力

先日行われた岩手県立博物館のカワウ調査に協力しました。学芸員と岩手大学学生がダムの巡視船に同乗し、カワウの生息状況を調査しました。四十四田ダムは、岩手県内で最大のコロニー（集団営巣地）がつくられているそうです。



四十四田ダム周辺も、木々の新緑がまぶしい季節となりました。ものしり館のデッキや四十四田公園からは、ダム湖周辺の景色を楽しむことができます。



## 四十四田ダム周辺の風景



### 四十四田ダムの水質（4月16日 採水）

- 水温 11.4 °C      ●pH 7.5
- COD 1.8 mg/L      ●ヒ素 なし

（水質悪化の指標：3以上）

※採水箇所：四十四田ダム貯水池(中層)

四十四田ダム周辺の木々の緑が濃くなってきました。ダム湖を吹き抜ける風も爽やかです。季節の移り変わりを感じに四十四田ダムにぜひお越しください。（田）

編集後記

